

～ 2026年6月賞与に関する労使協議会を開催しました ～



■ 5月15日(金)に、『2026年6月賞与』に関する労使協議会を開催しました。要求に先立ち、5月9日(土)には支部大会を開催し、組合(案)は満場一致で可決されています。要求の結果、2026年6月賞与は**組合要求通りの満額回答**を頂いています。

2026年6月賞与

社員 ステージB	評価	7	6	5	4	3
	支給ヵ月	1.70	1.60	1.50	1.40	1.30
社員 ステージC	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.65	1.55	1.45	1.35	1.25
メイト社員	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.65	1.45	1.35	1.25	1.05
エルダー スタッフ (F・S)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.30	1.10	0.90	0.70	0.50
エルダー スタッフ (P)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.00	0.80	0.60	0.40	0.20

※支給細則など詳細は組合HPより議案書を確認ください ⇒  
 ※支給日:2026年6月15日(月)



5月9日(土)支部大会

■大会代議員のコメント

- 賞与を回復していくステップとして目指していた『年間2.5ヵ月』水準をようやく実現することはモチベーションの向上や、やりがいの観点からも嬉しく思う。今後は、組合が大事にしている『賞与は生活給』の観点を強くもち、年間2.5ヵ月を下回らない労使協議をしてほしい
- 2025年度の業績黒字に伴い今6月賞与についても昨年から増額した要求に至ってよかった。一方で、2026年度以降の賞与がどのようになっていくのかも気になる。年間2.5ヵ月以上の交渉をお願いしたい



5月15日(金)労使協議会

■支部執行委員長 工藤さんのコメント

- これまで労使目線あわせをしてきた『黒字達成で年間2.5ヵ月へ回復』という考え方の通り、労使協議のもと本日満額の回答をいただくことができたことをありがたく思います
- 賞与に関して組合が描く次のステップは、『本来支給されるべき賞与水準への回復・賞与制度に則った半期交渉へ移行する』ことです
- 賞与協議は企業業績に左右される性質はあるものの、『生活給や従業員の企業業績への報い』の観点を労使で持ち、今後も会社の状況を踏まえながら協議をおこなっていきたいと考えます



■代表取締役社長 小宮さんのコメント

- 従業員の皆さんが『実感』をする1つの要素は賞与だと思っていますので、まだまだ満足いく水準ではないものの、今回黒字達成を踏まえて、年間2.5ヵ月水準の支給に労使妥結できたことは良かったと思っています
- 一方で、2025年度は営業利益1.5億円を目指していた年度に対して実績は約半分という結果であり、グループ内の地域百貨店と比較しても収益状況はまだまだ低位に位置していて、更なる努力が必要であると思っています
- 今後の賞与を向上させていくためにも、黒字・赤字を行き来する会社ではなく、筋肉質でしっかり稼ぐことができる企業になるよう、皆さん一丸となって取り組んでいきたいと思っています